

教科	商業	科目	ビジネス中国語会話	単位数	小学科・学年	教科書
				3単位	国際ビジネス科・2年	ケンタくんの中国語（朝日出版社）
副教材	補助プリント					
学習目標	ビジネスのグローバル化に伴い、中国語を活用し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、複雑化する企業取引を迅速かつ適法に処理していくため、中国語全般の資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					

評価の規準・観点		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネス中国語の音声や語彙、表現、文法、などについて理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技術を身に付けている。	中国語を使うビジネスの場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、創造的に解決する力を身に付けている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験、小テスト、単元テスト</li> <li>授業プリント・リスニングテスト等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験、小テスト、単元テスト</li> <li>授業プリント、リスニングテスト</li> <li>ノートの見取り等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、授業中の取り組み</li> <li>ノートの見取り、まとめ、発表</li> <li>コミュニケーション活動</li> </ul>
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表会の取組、課題の提出、小テスト、定期試験、パフォーマンステスト等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容 (特色を含む)			
月		月	
4	発音編 中国語による自己の名前を学習し、正しくピンインが読めるよう学習します。 第1課 あいさつ用語、学習用語をとおして、発音・発声の基礎を学習し、自分で音を発声し、相手の言葉を聞き取る練習をします。	9	第8課 動詞の重ね型について学習します。中国の貨幣について学習します。
5	第2課 音節、声調の発声を整え、相手の言葉が理解できるように、数字、家族の名称をとおして学習します。	10	第9課 比較文を学習します。また、中国語検定のリスニングに対して聞き取る練習を行います。 第10課 了・是～的・会・能・可以について学習します。
6	<b>中間試験</b> 第3課 家族構成、年齢等をとおして、話し相手に会話を進行させます。モノを数える量詞について学びます。 第4課 時間、時刻を使って日常生活を表現し話し相手との話題を進める学習をします。反復疑問文について学習します。 第5課 場所を表す指示代名詞について学びます。存在を表す動詞を、使い分けることができるよう学習します。 第6課 日付、時間に関する中国語を理解し、使い分けることができるよう学習します。	11	第11課 進行形を理解し、文の作成方法について学習します。 第12課 方向補語、結果補語、動量補語を理解し、それぞれに応じた形で文の作成方法について学習します。 第13課 無主語文や決まった表現の仕方について学びます。
7	<b>期末試験</b> 第7課 介詞を適切に使い方について学びます。連動文や動詞の重ね型について学習します。	12	第14課 中国の歌など、中国文化について学びます。 <b>期末試験</b>
		1	第15課 中国の文化、気候、季節、行間行事、中国の景色、食生活等を学びます。
		2	<b>学年末試験</b>
		3	まとめ

担当者からのメッセージ及び特色	
1 授業	同じ漢字文化圏です。言葉の意味は大体理解できますから、授業中に正しい発音をしっかり身につけ、会話を重視して「使える中国語」を目標に授業を進めていきます。
2 家庭	日々の生活の中で学習した言葉を使用して復習とし、新聞、テレビニュース、インターネット情報等で中国事情を理解しましょう。
3 その他	中国語検定試験にチャレンジしましょう。（準4級、4級）